年度 2007　学期 前期	曜日･校時　水 2	必修選択　必修	単位数　1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションⅡ English Communication Ⅱ		
対象年次 1年次	講義形態　演習	教室	
対象学生(クラス等)　Lb		科目分類　外国語科目 (英語)	

担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員:西原 俊明 /Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部6階
/オフィスアワー:火曜日 13:00-14:00, それ以外は only by appointment

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい:
基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。

授業方法:
授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ﾍﾟｱワークやインフォメションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。

授業到達目標:
授業を通して、種々の速読のスキル、ﾘｽﾆﾝｸﾞｽﾄﾗﾃｼﾞｰ、英語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ活動に慣れ、基礎的なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を身につけることを目標とする。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)
英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。

第1回　ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ
第2回　英語のﾘｽﾞﾑ(1), 速読(phrase reading)とﾍﾟｱワーク(1)
第3回　Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とﾍﾟｱワーク(1)
第4回　ﾘｽﾞﾑユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)
第5回　ﾘｽﾞﾑユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)
第6回　弱く発音される音, 速読(phrase reading)
第7回　インフォメーションギャップによるﾍﾟｱワーク(1), 映画による聞き取り(1)
第8回　聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
第9回　インフォメーションギャップによるﾍﾟｱワーク(2), 映画による聞き取り(3)
第10回　グループによるデイスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
第11回　ひとつになる音, インフォメーションギャップによるﾍﾟｱワーク(3),速読(phrase reading)
第12回　つながる音, 映画による聞き取り(4),速読(phrase reading)
第13回　なくなる音
第14回　Review
第15回　まとめのテスト

キーワード	
教科書･教材･参考書	テキスト Macmillan Cinema English(予定)、及びﾌﾟﾘﾝﾄ教材
成績評価の方法･基準等	期末試験(50%)、小テスト(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習･教育目標	
備考(準備学習等)	毎週、Plain English による英語表現のテストを行う。